

廿日市市立吉和小学校・吉和中学校 学校教育目標
自分を育て 人とつながり 自己実現する 児童生徒の育成

〔研究主題〕 **自ら求め 人とつながり 対話から学ぶ**

〔めざす児童生徒像〕

- やる気・本気・根気のある児童・生徒
- 考えをはっきり言える児童・生徒
- 優しい心で接する児童・生徒
- 自らすすんで働く児童・生徒



〔昨年度の成果と課題〕

説明力向上をキーワードにした授業に小中教職員全員が取り組んだ。説明力における目指す児童生徒の姿を研修を通して明文化した。また、授業観察週間の取組や授業研究を実施し、日頃の授業改善に取り組んだ。「ICT 機器の効果的な活用」、「説明力を高める指導の工夫」はできたが、「場に応じた適切な発言や説明」には一昨年度、同様に課題が残った。CRT の結果から、国語は、文章全体の構成や主題を読み取り、簡潔にまとめることに課題があった。算数は、「数学的な見方や考え方」の活用型の問題を解くことに課題があり、領域別に見ると、図形領域に課題があった。学年があがるほど、授業の内容が理解できない児童が増え、学力差が広がる傾向にあり、小学校の低・中学年で学力的に厳しくなった児童は、高学年、中学校においても学力に課題がある。

自分の考えを記述、説明する等論理的説明力を高めるために、まずは、個人内対話を充実させ、基礎学力を向上することが不可欠である。

〔研修計画〕

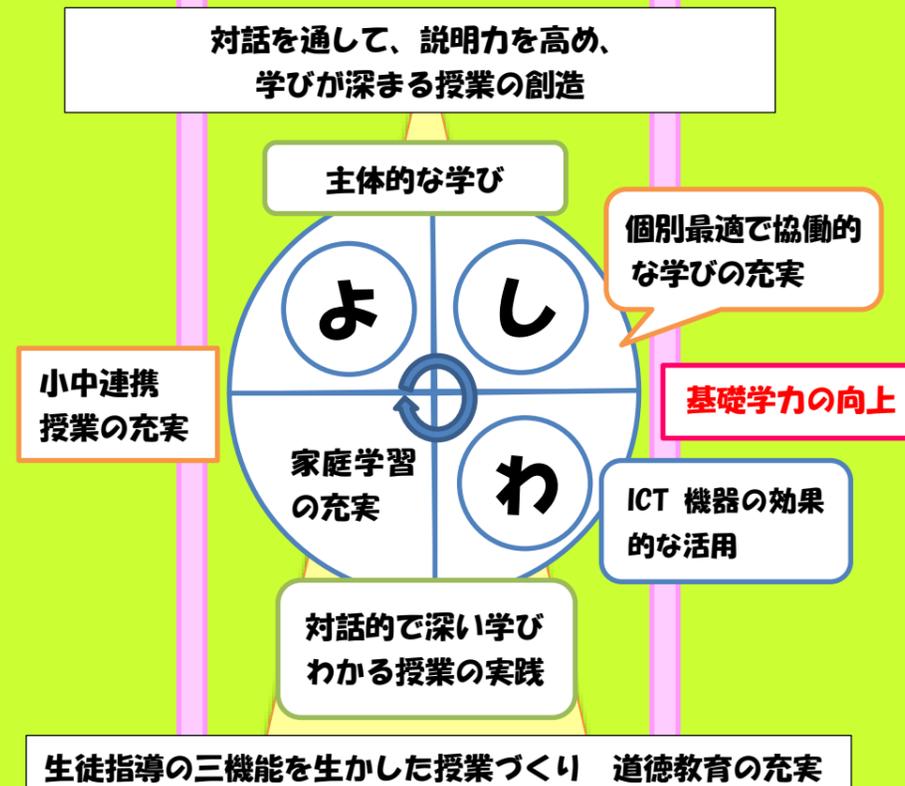
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○全国学力・学習状況調査 18日	○校内研修 (今年度の研究の方向性について)	○理論研修①	○理論研修② ○学校評価アンケート実施 ○1学期のまとめ ○教材作成	○教材作成 ○全国学力・学習状況調査分析 ○校内研修 (教材検討) ○理論研修 (道徳)	○研究授業(中) ○先進校視察 ○授業公開		○研究授業(小)	○学校評価アンケート実施 ○2学期のまとめ	○学力テスト実施 ○道徳参観	○学校評価アンケート実施 ○学力テスト分析と授業改善	○研究のまとめ

(1) 理論研修と実践 ①各教科 ②特別の教科「道徳」 年間：副担任がTTで参加 (中学部) (2) 授業研究と指導案検討 (3) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を意識した授業改善

〔研究構想図〕

児童生徒につけたい力

- ① 主体的に学ぶ力 ② 説明力 ③ 自己有用感



(1) 「よしわ学びのサイクル」の確立

- よくつかむ
 - めあての把握
 - 課題解決までの見通しをもつ
 - しっかり考える
 - 【自力解決】個への支援
 - わかり合う【集団解決】
 - 自分の考えをはっきり表現する
 - 個々の考えを交流して解決する
- ◎振り返りのある授業
- 児童生徒の振り返りで次時への見通しを持たせるとともに指導の改善に生かす

◎家庭学習の充実

(2) 理論研修の実施

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を意識した少人数に最適な授業づくりに関する理論研修を実施

(3) 授業研究の実施

- 小中合同の授業研究を実施 (小中連携授業の充実)
- 全員が研究の主旨に合致した単元計画を1本作成し、指導案を作成して授業を公開
- 授業観察シートの効果的な活用

(4) ICT 機器の効果的な活用

- ICT 機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実

(5) 生徒指導の三機能を生かした授業作り (自己有用感を高める)

(6) 道徳教育の充実

- TTによる実施 (中学校)
- 道徳参観の実施
- 理論研修の実施

〔検証〕

- 全国学力・学習状況調査
- 学力テストの実施と分析
- 児童生徒アンケート